

## 平成30年度議会による行政評価結果について

平成30年度泉佐野市議会行財政委員会では、以下の施策について、議会による議員全員の評価と意見を取りまとめ、調査と議論の結果、下記のとおり評価を決定し、平成31年度以降の事業と予算について以下の対応を期待する。

### 記

施策名 「活力づくり」

施策の方向性 「拡充」

1. 関西国際空港の直近都市の地の利を活かし、ホテルの誘致・増設によるインバウンド客の受け入れ態勢の更なる強化をすることで滞在都市としての地位をめざすこと。
2. インバウンド客が気軽に利用できるように、まちかど等に Wi-Fi の更なる整備と同時通訳が可能なタブレットの設置を行政主導で普及させること。
3. 盆踊り、だんじり祭り、よさこい祭り、りんくう花火等などは老若男女が集い、郷土愛を育むだけでなく、伝統文化を継承させる絶好のイベントである。よって、引き続き強化を図ること。
4. 各種民間団体との更なる連携を図ることで泉佐野版 DMO の強化を図ること。
5. 上記の財源については「ふるさと納税」や「地方創生推進交付金」を活用すること。

施策名 「魅力づくり」

施策の方向性 「拡充」

1. 観光情報センターや観光交流プラザ各まち処の更なる充実を強化することにより、インバウンド客が安心・安全な観光を楽しめるように取り組むこと。
2. 上記実現をめざし、SNS 等ソフト媒体を活かした情報発信の充実を図ること。
3. 地域通貨システム（さのぼ等）の取扱い店舗の増加を促し、更なる普及を図ること。
4. インバウンド客向けの周遊ルートの周知徹底と泉佐野市の魅力をアピールする多言語案内の更なる充実をさせること。
5. 広域での周遊バスの運行の検討をすること。

施策名 「防災の推進」

施策の方向性 「拡充」

1. 各自主防災組織へ「自助」・「共助」の指導強化を図ること。
2. 予算的な支援を含めて、各種団体との災害協定の推進を強化すること。
3. 「ふるさと納税」・「防災・減災交付金」等の活用による防災無線の増設をすること。
4. 研修などを実施することにより、防災士の更なるスキルアップ等の育成強化を図ること。
5. あらゆる災害に対応できる地域版ハザードマップの恒常的な見直しをすること。
6. スマートホンを含む携帯電話への緊急通報システム、及び災害発生後の行政からの各種アナウンスを検討すること。

施策名 「消防・救急体制の充実」

施策の方向性 「現状維持」

1. AED の取扱いを含む救命講習会の受講人数及び、回数の増加を図ること。
2. 市民の火災予防意識の更なる向上に努めること。
3. 住宅火災警報器の全戸設置に努めること。